

各 位

2024年3月13日
株式会社リットーミュージック

King Gnu 勢喜 遊がドラム・マガジン表紙に登場！
インタビューや機材、プライベート・スタジオなど 36P に渡る大特集！
新井和輝との対談や常田大希が語る“ドラマー 勢喜 遊”も！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『リズム&ドラム・マガジン 2024年4月号』を、2024年3月15日に発売します。

Cover Artist

ドラマの常識を覆す
THE GREATEST UNKNOWN

勢喜遊

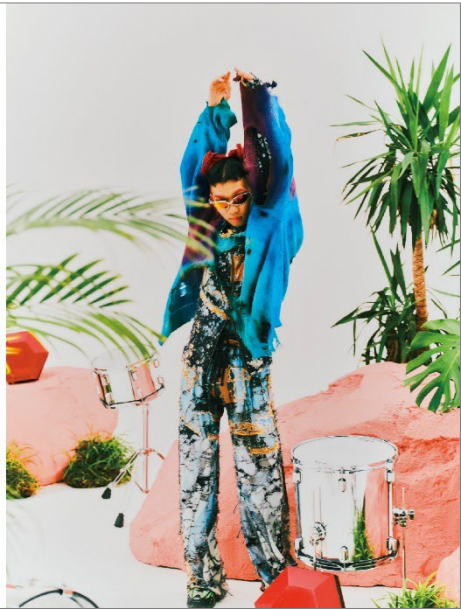
King Gnu

昨年11月、King Gnuが4年ぶりとるる特選の新曲『THE GREATEST UNKNOWN』をリリースした。『目』のラストサレット以降、さまざまなイマジナリに引込まれたことで、自らもツアー・アーティストで日本各地の場に立ち昇ることで伝わるであろう個性した楽曲にコロナが響き、それでも歩み止めたコンストラクトに楽曲を完成し、誰もが知る個人がドラム・セットで演奏する。それはまた、この4年間のツアーを全編収録という、特大のアルバム。さらに楽曲には収録をアレンジが加えられ、アルバムならではの個性も生かして、国内・海外問わずでは最高水準なサウンド・ツアーも収録が実現し、残るはラストの礼賛テーマというこのタイミングで、勢喜遊の鼓動が再び燃え、再びインパクトはもたらす。今度のツアーで大規模なツアーがはじかれた勢喜遊・ムネツツや製作経歴の拠点となっているグライベール・スタジオの取材など、盛りだくさんの内容で、ドラマー・勢喜遊の鼓動が伝わる。



『THE GREATEST UNKNOWN』
01. THE GREATEST UNKNOWN
02. 目
03. 目
04. 目
05. 目
06. 目
07. 目
08. 目
09. 目
10. 目
11. 目
12. 目
13. 目
14. 目
15. 目
16. 目
17. 目
18. 目
19. 目
20. 目
21. 目
22. 目
23. 目
24. 目
25. 目
26. 目
27. 目
28. 目
29. 目
30. 目
31. 目
32. 目
33. 目
34. 目
35. 目
36. 目
37. 目
38. 目
39. 目
40. 目
41. 目
42. 目
43. 目
44. 目
45. 目
46. 目
47. 目
48. 目
49. 目
50. 目
51. 目
52. 目
53. 目
54. 目
55. 目
56. 目
57. 目
58. 目
59. 目
60. 目
61. 目
62. 目
63. 目
64. 目
65. 目
66. 目
67. 目
68. 目
69. 目
70. 目
71. 目
72. 目
73. 目
74. 目
75. 目
76. 目
77. 目
78. 目
79. 目
80. 目
81. 目
82. 目
83. 目
84. 目
85. 目
86. 目
87. 目
88. 目
89. 目
90. 目
91. 目
92. 目
93. 目
94. 目
95. 目
96. 目
97. 目
98. 目
99. 目
100. 目

© 2021 King Gnu / Sony Music Labels Inc.



4 Gear

“オール電子”へと変貌を遂げた最新ツアー機材を徹底解剖!!

『THE GREATEST UNKNOWN』を引っ掛け国内バンド史上最高となる5大ツアー・ドラマーと名を馳せ、今更にあつたKing Gnu。そのツアーのドラム・セットは、何となく“オール電子”になったドラム・セット。ここでは、見た目のインパクトも抜群な勢喜遊の新たな変貌を、ローランド・スタック・ドラムを開き、徹底的に深掘り。また、昨年にリリースとなった得意のシグネチャー・スティックや過去の楽器に『アコースティック・ドーム』を備えた最新のドラム・セットに迫る。

Photo: Kosuke Inoue (P.25, 28, 30), Daichi Yoshino (P.26, 27, 28, 31)





■書誌情報

書名：リズム&ドラム・マガジン 2024年4月号

表紙：勢喜 遊 [King Gnu]

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

発売：2024年3月15日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3123132012/>

Cover Artist

ドラムの常識を覆す THE GREATEST UNKNOWN

勢喜 遊 [King Gnu]

4年ぶりとなる最新作『THE GREATEST UNKNOWN』のドラミングに関するインタビューやライヴ・バンド King Gnu の真髄に迫るインタビュー、“オール電子”となったツアー機材を徹底取材！ さらに制作活動の拠点となっている勢喜のプライベート・スタジオに本誌初潜入！

そして King Gnu のブレイン、常田大希が勢喜のドラミングの変化や今作の制作で感じた“進化”を語る独占インタビューや、前回のダブル表紙以来4年ぶりとなる新井和輝とのリズム体対談なども掲載！

36Pに渡る総力特集で、King Gnu のドラマー勢喜 遊の現在地に迫る！

さらに購入者限定で勢喜 遊 & 新井和輝直筆サイン入り色紙や使用済みシグネチャー・スティックなど豪華プレゼントも用意！

#1 Special interview I

大きな転換期となった『THE GREATEST UNKNOWN』
制作秘話から紐解く“勢喜流ドラミング”の変化と矜持

#2 Playing Analysis

セカイイチ吉澤 響が解説！
King Gnu だからこそそのドラム・アプローチ

#3 Special Interview II

ドラム・セット大幅アップデートの経緯と
ライブ・バンド King Gnu の真髄に迫る

#4 Gear

“オール電子”への変貌を遂げた
最新のツアー機材を徹底解剖!!

#5 THE GREATEST TALK SESSION

4年ぶりとなる King Gnu リズム体対談！
アルバム制作を通してお互いが感じた成長

#6 Private Studio

洗練された雰囲気漂う大人の秘密基地
制作活動の拠点となっているプライベート・スタジオへ本誌初潜入！

昨年11月、King Gnu が4年ぶりとなる待望の新作『THE GREATEST UNKNOWN』をリリース。「白日」のウルトラ・ヒット以降、さまざまなタイアップに引っ張りだこで、これからツアーやフェスで日本を熱狂の渦に巻き込んでくれるであろうと期待した矢先にコロナが襲来。

それでも歩みを止めずコンスタントに楽曲を発表し続け、誰もが待ち望んだタイミングでのフル・アルバムは全21曲で構成され、この4年間で発表されたシングルを全曲収録。さらに数曲には斬新なリアレンジが施され、アルバムの新たな可能性を見せてくれた。

国内バンドでは最速となる5大ドーム・ツアーも超満員で巡業し、残るはラストの札幌ドームというこのタイミングで、勢喜 遊の表紙特集が実現。新作インタビューはもちろん、今回のツアーで大幅なアップデートがなされた最新ドラム・セットや制作活動の拠点となっているプライベ

ト・スタジオの取材など、盛りだくさんのコンテンツ！ 計 36 ページの特大ボリュームで"ドラマー勢喜 遊" の現在地に迫る！

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp